知事盃ゴルフ

グランドシニアの部

中島（茨城）悲願の初V

2位大垣（宇都宮）、3位は塩田（福島）

第59回県知事盃争奪ゴルフ競技大会（県ゴルフ連盟、県ゴルフ場協議会、下野新聞社主催）は4日、高根沢町の県民ゴルフ場（6043ヤード、パー72）でグランドシニアの部決勝を行い、70歳の中島正（茨城）が3アンダー69の好スコアで初優勝を飾った。エージシュートも達成した。

曇り、微風の絶好のコンディションの中、予選、地区ブロック大会を通過した70歳以上の153選手が腕を競った。イン10番スタートの中島は3バーディーを奪い33でトップタイに躍り出た。アウトもパープレー36と踏ん張り逃げ切った。

1打差の2位は大垣春男（宇都宮）。3位は昨年2位（降雨のためハーフ競技、インスタート組）の塩田勝（福島）が1アンダー71で食い込んだ。

昨年アウト組優勝の石川清巳（佐野）は73で9位、イン優勝の磯誠一（那須塩原）は73で10位。今年のシニアの部で3度目の優勝を飾った阿久津英男（日光）は75で20位に終わった。

7部門最後の一般男子の部決勝は11日、矢板CCで行われる。

1打及ばずも「満足」

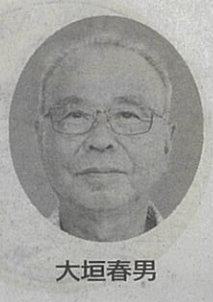
○…1打及ばずも、大垣春男（宇都宮）は「満足、満足。2アンダー70で回れたのだから」と悔しさはなかった。

グリーンを外したのは2回と、ショットが安定していた。3バーディー、2ボギーと波のないゴルフを見せ「最終9番ではカラーからの2・5㍍を根性で沈めた」と満足そうに振り返った。

ゴルフ歴48年で競技ゴルフは10年。県知事盃グランドシニアでは2020年に3位、昨年4位とたびたび上位に顔を出す。「楽しむゴルフ。まだまだ楽しみたい」と笑った。

日光・阿久津英男（シニアの部に続き2冠を目指すが20位）「37パット。難しいグリーンだった。全く読めなかった。まだまだ勉強不足です」

塩田勝


大垣春男

【グランドシニアの部決勝大会】
（6043㍎、パー72）

				グロス	ネット
−3	①中島 正	茨城	69	36	33
−2	②大垣 春男	宇都宮	70	35	35
−1	③塩田 勝	福島	71	36	35
0	④川島 憲一	宇都宮	72	40	32
	⑤舟岡 誠	那須塩原	72	36	36
＋1	⑥伊藤 敏夫	大田原	73	40	33
	⑦間宮 理和	茂木	73	40	33
	⑧麻生 敏男	小山	73	39	34
	⑨石川 清巳	佐野	73	37	36
	⑩磯 誠一	那須塩原	73	36	37
	⑪富久 弘	那須	73	36	37
＋2	⑫小野 進	茨城	74	38	36
	⑬寺内 篤	宇都宮	74	38	36
	⑭斉藤 唯夫	〃	74	38	36
	⑮黒沢 和夫	那須塩原	74	37	37
	⑯那須野 勝	大田原	74	37	37
	⑰久我 正夫	栃木	74	36	38
	⑱金子 一郎	宇都宮	74	34	40
＋3	⑲山田 繁	埼玉	75	40	35
	⑳阿久津英男	日光	75	39	36
	㉑五十嵐秀夫	栃木	75	38	37
	㉒鈴木 由行	〃	75	38	37
	㉓坂和 義昭	那須塩原	75	37	38
	㉔鈴木 盛生	那珂川	75	36	39
＋4	㉕薄羽 和夫	益子	76	42	34
	㉖薄井 一郎	那須	76	41	35
	㉗古澤 章司	壬生	76	40	36
	㉘辻 四郎	埼玉	76	38	38
	㉙生魚 信行	那須烏山	76	38	38
	㉚遠藤 斌	鹿沼	76	38	38
	㉛増子 幸一	宇都宮	76	37	39
	㉜熊倉 将	〃	76	37	39
	㉝稲葉 勝美	埼玉	76	36	40
＋5	㉞落合 功	群馬	77	41	36
	㉟戸祭 康生	芳賀	77	41	36
	㊱柳沼 達男	福島	77	40	37
	㊲手塚 良美	さくら	77	40	37
	㊳平野 順一	宇都宮	77	40	37
	㊴玉井 信之	茨城	77	39	38
	㊵川田 章	足利	77	39	38
	㊶河村 幸信	宇都宮	77	39	38
	㊷横関 秀夫	小山	77	38	39
	㊸小林 博樹	宇都宮	77	37	40
＋6	㊹渡辺 芳郎	真岡	78	44	34
	㊺林 芙左一	宇都宮	78	43	35
	㊻上野 清	小山	78	42	36
	㊼片柳 正光	栃木	78	42	36
	㊽近藤 昇	下野	78	41	37
	㊾江連 秀樹	宇都宮	78	41	37
	㊿船山 光偉	〃	78	41	37
	(51)斎藤 良男	〃	78	41	37
	(52)屋代 直也	那須塩原	78	40	38
	(53)樋山 儀男	さくら	78	40	38
	(54)生方 敏明	福島	78	40	38
	(55)相田喜久夫	壬生	78	39	39
	(56)高橋 信夫	高根沢	78	39	39
	(57)入野 幸雄	茂木	78	39	39
	(58)菊地 浩	那須塩原	78	39	39
	(59)岩井 武久	宇都宮	78	39	39
	(60)竹迫 清人	〃	78	38	40
＋7	(61)野田 利彦	〃	79	44	35
	(62)柳田 弘行	栃木	79	42	37
	(63)高岩 照夫	〃	79	41	38
	(64)小島 一夫	茨城	79	41	38
	(65)七海今朝義	那須烏山	79	41	38
	(66)川上 明	宇都宮	79	40	39
	(67)船澤 正一	大田原	79	40	39
	(68)碇 秀夫	宇都宮	79	40	39
	(69)高村 守	日光	79	40	39
	(70)鈴木 清美	高根沢	79	39	40
	(71)佐藤 武	宇都宮	79	39	40
	(72)石島 康彦	日光	79	39	40
	(73)浅野 洋司	小山	79	38	41
	(74)杉山 和幸	真岡	79	38	41
	(75)人見 竹次	那須塩原	79	38	41

※同スコア順位は大会規定による。

中島 要所で攻めて運も味方に

ヒーロー

競技ゴルフに挑戦して45年で悲願の県知事盃を手にした中島正（茨城）。表彰式のスピーチでは「孫に今朝『じいちゃん頑張ってくる』と約束した。でも、まさかこんな場所であいさつできるとは」と声を詰まらせた。

素晴らしい内容だった。インは3バーディー33、トップタイでターン。難しいアウトも6番パー3でアプローチをミスしてこの日唯一のボギーとしたが、7番パー4（349ヤード）で80ヤードを52度のウエッジで1㍍につけてバーディーで取り返し、36でまとめた。「スタートの10番で左に引っかけてクリークぎりぎりでセーフ。神様がついているのかも」。運も味方に付けた。

飛ばし屋だ。ゴルフを始めた頃、杉本英世プロから「飛ばすことを覚えろ」と指導されて以来、距離にこだわる。今も筋トレを欠かさず、280ヤードのドライバーを誇る。

だがこの日のドライバー使用は6ホールだけ。「格好良く言えばコースマネジメントに徹したということですかね。頭を使った」と笑う。18番パー5（479ヤード）は190ヤードを4番ユーティリティーで3㍍に2オンさせるなど、攻めどころでは攻めた。

これまで県知事盃最高成績は第45回大会の一般男子の部11位。初の王位に就き、次は飛距離を生かして「シニア（の部）も取ってみたい」と意欲を見せた。（井上孝男）

初優勝を飾った中島のティーショット＝県民ゴルフ場、井上孝男撮影

幕戦鍵

バスケットボールりそなB1の宇都宮ブレックスは5日、千葉県船橋市のららアリーナ東京ベイで千葉Jラスウェル新監督体制で速攻からの得点量産を目指す。千葉Jも司令塔富樫勇樹を中心とした堅守速攻をプレシーズンゲーム（PSG）、天皇杯2次ラウンドと開幕前の8試合で全勝。好調ぶりを開幕戦でも

王者で西地区の広島と東地区の群馬が先立って対戦し、2024～25年シーズンが開幕。多くのチームが

栃木SC

あすホームで愛媛戦

2試合ぶり勝利で勢いを

サッカーJ2第34節は6日午後2時から、県グリーンスタジアムで愛媛と戦う。通算成績は7勝9分け17敗、勝ち点30でJ3降格圏の18位。今季は残り5試合。勝ち点6差の17位大分に2試合ぶりの勝利で迫りたい。

前節はいわきと0−0でドロー。好機を生かせなかった反省を生かし、CKなどセットプレーの精度を高め得点を狙いたい。一方の愛媛は10勝8分け15敗、勝ち点38で16位。直近の試合は計15失点で5連敗中と、守備が課題になっている。

第35節は18位以下確定の群馬戦。その後は首位の清水、2位横浜FCと上位との対戦が続く。MF森俊貴は「勢いをもって上位チームと戦うためにも2連勝が絶対必要。まずは愛媛に勝つこと。そのために自

栃木大会　12日開幕　56チームのメンバー　2

左からポジション、氏名、学年、身長、体重、前所属チーム。○は主将。氏名の表記は主催者の発表に基づいています。

上三川

部長　坂本　幸久
監督　荒川　拓也

GK	石田 春輝	③	177	74（石橋）
DF	六川 虎大朗	②	173	74（石橋）
DF	南條 昊	②	180	60（ファイターズ）
DF	石神 志澄	②	163	60（雀宮）
MF	石川 輝	②	170	60（石橋）
○MF	石川 大翔	②	168	55（国分寺）
MF	池田 充希	②	171	58（雀宮）
DF	鈴木 篤人	①	175	71（上三川）
GK	佐川 颯汰	①	173	60（石橋）
FW	永嶋 喜人	①	177	64（上三川）
DF	田中 歩	①	168	57（〃）
MF	堀越 琳恩	①	168	55（南河内二）
FW	小出 宗樹	①	162	50（〃）

真岡

部長　阿部　剛
監督　川上　栄二

GK	太田 春輝	③	177	68（FCスポルト宇都宮）
DF	沼野 碧葉	③	170	66（〃）
DF	渡邉宗一郎	②	177	62（都賀）
○DF	遠藤 仁	③	179	69（本郷）
MF	半田時季也	③	173	60（真岡東）
MF	手塚 大翔	②	170	58（イデアFC真岡）
MF	大塚 景弘	②	174	60（栃木SC）
MF	櫻井 結	③	165	61（益子）
FW	達下 怜斗	③	176	63（ウイングスSC）
FW	二見 亮悟	③	166	58（FC栃木）
FW	小森 翔太	③	181	75（ウィングスSC）
DF	中三川瑛斗	②	168	59（イデアFC真岡）
FW	佐藤 元	②	170	58（栃木SC）
MF	市川 慧	②	173	57（ウイングスSC）
MF	杉田 悠訊	②	170	60（真岡東）
MF	杉本拳士朗	②	174	62（イデアFC真岡）
GK	永嶋 想大	②	182	69（〃）
MF	関塚 颯弥	②	172	59（〃）
MF	江崎 夏音	②	172	58（ファイターズ）
FW	賀川 翔太	②	173	61（イデアFC真岡）
GK	塩澤 稜	②	165	69（〃）
DF	野沢 幸生	②	174	64（〃）
DF	藤本 翼	②	172	69（〃）
FW	青木 智哉	②	178	65（〃）
DF	岡田 琉汰	②	171	61（ともぞうSC）
DF	杉野 優斗	①	177	65（若松原）
MF	那花 脩人	②	170	55（おおぞらSC）

文星付

部長　平野　大希
監督　星野　龍二

GK	郡司 好晴	②	174	72（ウイングスSC）
DF	松城 史玖	③	169	60（FCスポルト宇都宮）
DF	粕谷 瑠吾	③	177	70（市貝）
DF	秋元 颯仁	③	172	70（矢板SC）
DF	皆木 涼槙	③	173	60（鹿沼東）
MF	荒井 浬瑠	②	170	63（真岡）
MF	江連 大喜	②	160	54（上河内）
MF	池澤 昊輝	②	173	56（日新）
FW	粂川 莞佑	③	175	65（FC栃木）
○MF	花塚 涼太	③	174	68（上河内）
MF	角田 隆磨	③	169	55（HFC真岡）
GK	増渕 祐大	③	178	74（瑞穂野）
MF	小林 晃之	②	166	58（星が丘）
MF	川田 竣斗	③	175	60（ウイングスSC）
MF	本澤 一真	②	176	69（矢板SC）
DF	福田 遥人	②	170	70（陽南）
FW	橋本 遥人	②	172	71（矢板SC）
MF	渥美 来翔	②	166	50（〃）
DF	島田 凌輔	②	168	65（FCスポルト宇都宮）
MF	大瀬 仁志	②	170	58（ユニオンSC）
DF	平山 陽都	②	178	66（桑）
MF	加藤 誠人	②	167	58（日光東）
DF	荒川 聖彗	②	160	56（横川）
MF	吉田 青空	②	165	57（久下田）
DF	高橋 光里	②	161	75（陽南）
DF	田村 光	①	173	67（ウイングスSC）
MF	土屋 潤葉	①	170	56（栃木SC）

宇都宮

部長　芳賀　篤士
監督　岡田　仁史

○GK	古澤 創	②	182	60（河内）
DF	阿久津桜雅	②	164	47（一）
MF	五百部智悠	②	174	58（〃）
DF	秋山 史太	②	176	63（星が丘）
DF	高良 優太	②	180	67（横川）
MF	大森 慶人	②	170	58（〃）
MF	根未直太郎	②	164	58（横川）
FW	高田 真平	②	180	70（宇大付）
FW	中澤 崇哉	②	162	58（国分寺）
DF	福田 蒼太	②	165	58（阿久津）
DF	藤田 琉冴	②	165	52（小山）
DF	宮田 大嗣	②	170	62（大谷）
DF	村上 太一	②	170	60（東原）
DF	高井 凛	②	170	58（豊郷）
DF	青木 琉聖	②	175	72（宇大付）
FW	太田 万葉	②	175	60（日光東）
FW	小川 千陽	②	170	52（小山城南）
MF	西川 悠斗	②	173	60（作新）
FW	梶田 将仁	①	175	59（本郷）
MF	小菅 哲平	①	168	55（宇大付）
DF	橋口 和樹	①	169	62（泉が丘）
FW	室野井康太	①	172	67（宝木）
GK	木村 圭佑	①	173	60（ともぞうSC）
MF	斎藤 逞人	①	173	63（一）
DF	阿出川晴太郎	①	177	66（宝木）
FW	笹森 大那	①	170	62（河内）
MF	髙橋 莉空	①	166	53（宇大付）

那須塩原・松本正夫（出場最高齢の85歳。82ストロークのエージシュートで1

04位）「70台が出ず悔しい。アウトスタートの序盤でミスが重なり、その後はそれを取り返しだ。来年も出場健康維持に努め

秋季県高校野球　きょう準決

第77回秋季県高校野球大会第10日は5日、清原球場で準決勝2試合が行われ、26日に神奈川県で開幕する関東大会に出場する代表2校が決まる。

第1試合は前回3位の文星芸大付に、20東大会出場を目工が挑む。

第2試合は6勝を狙う佐野日2連覇中の作新する。